

# 忘れられない笑顔

碧南市立東中学校

杉浦 創

「俺、歌うの嫌いだもん。」

合唱コンクールの練習を始めようとい  
うとき、思わずAが漏らした言葉である。

Aは明るく、自分の気持ちに素直な子。  
好きなことには前向きに取り組めるが、  
嫌いなことはなかなかやろうとしない。

「合唱コンクール、嫌だなあ。」

Aは誰に言うわけでもなく、独り言を  
つぶやいていた。Aは、歌うことを特に  
苦手としていた。

いざ練習が始まると、みんなが一生懸  
命に声を出している中、Aは口をほとん  
ど動かさず、ただ立っているだけのよう  
に見えた。Aに声をかけても、うつむい  
てしまい、歌おうとしない。何とかしな  
ければと思い、歌詞の意味をクラスみん  
なで考えてみることにした。少しでもA  
が前向きになれるかもしれないと考えた。

リーダーを中心に、クラスメイトたち  
は歌詞の言葉一つ一つから感じたことや、  
歌詞をどう捉えたのかを思い思いに発表  
していった。ああでもないこうでもない  
と語り合いながら、歌詞の意味すること  
へと迫っていった。その様子をAはじっ  
と見ていた。すると、突然Aが、

「俺は、この部分、いいなって思う。」

と、発言した。Aが指差した歌詞には  
『僕らの奇跡を 今 起こしてみせる』  
と書いてあった。Aはさらに、

「金賞が取れたら、それって奇跡じゃ  
ん。奇跡、起こしてみたいなって思う。」  
と、続けて言った。クラスメイトの語り  
合いを聞いているうちに、Aの中で、心  
の変化があったのだろう。みんなもちよ  
っと驚いたような顔をしていたが、Aが  
合唱コンクールに対して前向きな発言を  
したことを喜んでいた。

本番当日、クラス全員で円陣を組み、  
気合を入れてステージに登った。一年一  
組の生徒たちは、これまでの練習で仕上  
げてきた歌声を体育館中に響かせていた。  
Aも口を開けてしっかりと歌っているの  
が確認できた。あんなに嫌がっていた姿  
を思い出すと、Aの大きな成長を感じた。  
結果発表。一組の曲が流れた瞬間、ク  
ラス全員が飛び上がって喜んだ。Aも隣  
の生徒と笑顔でハイタッチをしていた。

「俺の言った通  
り金賞だね。」  
と、おどけて話  
すAの顔は、達  
成感を得たすが  
すがしい表情を  
していた。あの  
笑顔は一生忘れ  
られない。

